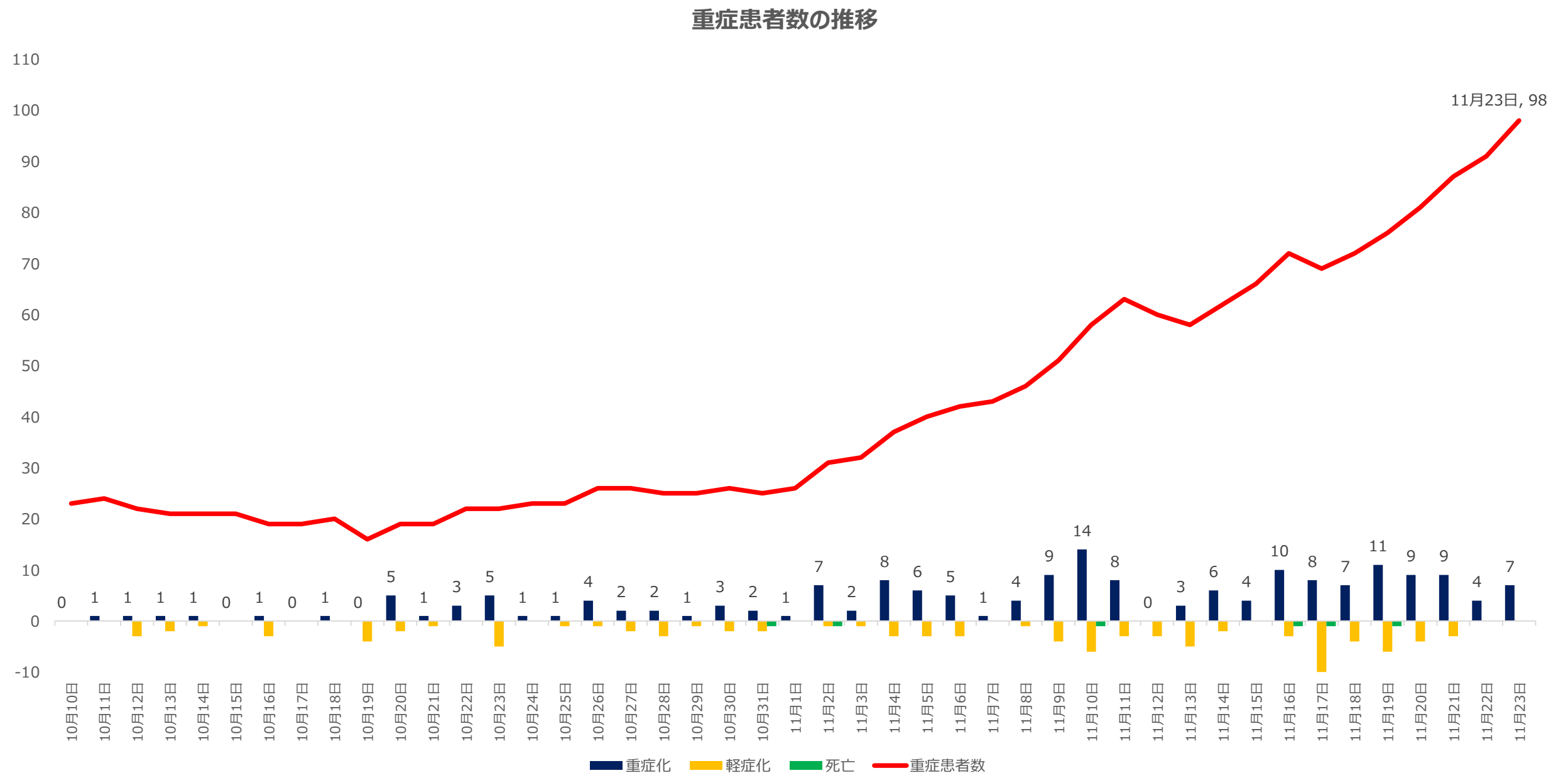


新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

重症患者数の推移



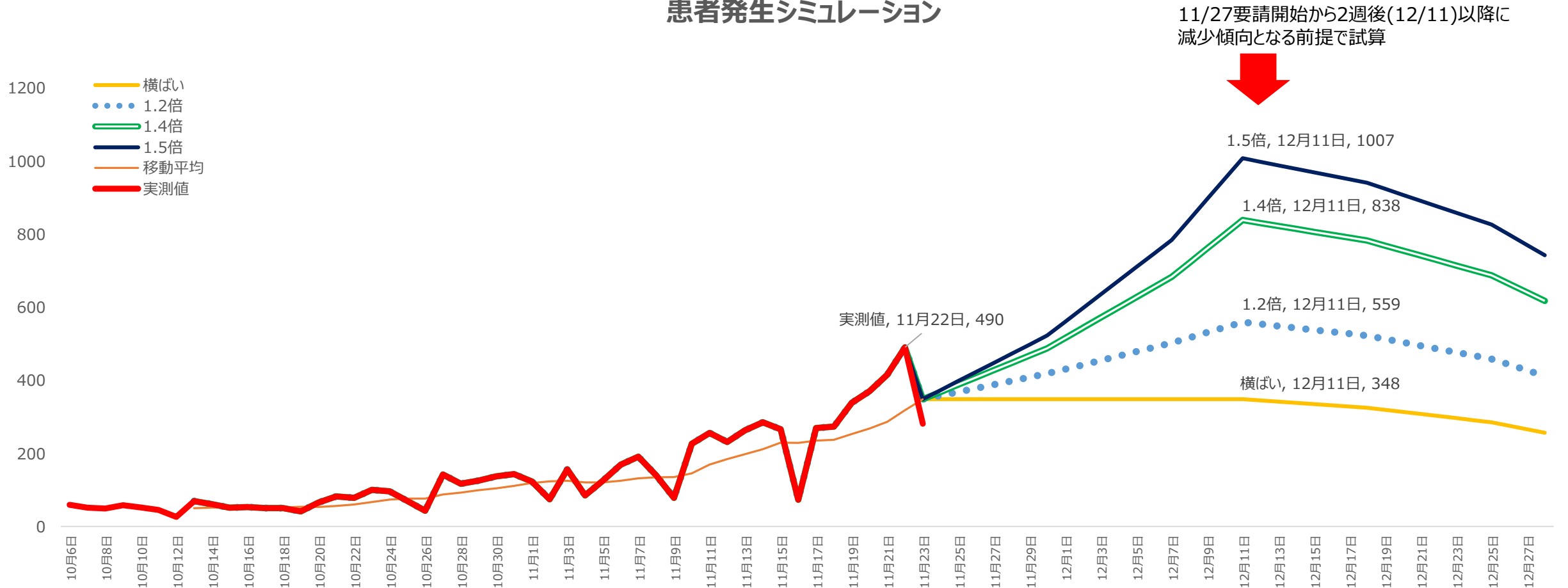
新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

■ 今後の患者発生予測として、以下の想定でシミュレーションを実施。

- ・想定①：11/23以降、348名/日（11/23時点の新規陽性者数の7日間移動平均）で横ばいとなり、12/11(11/27の要請から2週間後)以降減少していく場合。
- ・想定②：11/23以降、新規陽性者数が前週比1.2倍ずつ増加し、12/11をピークに減少していく場合。
- ・想定③：11/23以降、新規陽性者数が前週比1.4倍ずつ増加し、12/11をピークに減少していく場合。
- ・想定④：11/23以降、新規陽性者数が前週比1.5倍ずつ増加し、12/11をピークに減少していく場合。

※11/18以降の新規陽性者数の7日間移動平均の前週増加比の最大値が1.5、平均値が1.4であることから、第29回対策本部会議の想定（1.5倍、1.2倍、横ばい）に前週増加比「1.4倍」を追加。

患者発生シミュレーション



療養者数のシミュレーション

11月23日以降、以下の想定で新規陽性者数が推移した場合の療養者数のシミュレーションを実施。

- 想定①: 11/23以降、348名/日（11/23時点の新規陽性者数の7日間移動平均）で横ばいとなり、12/11(11/27の要請から2週間後)以降減少する場合。
- 想定②: 11/23以降、新規陽性者数が前週比1.2倍ずつ増加し、12/11をピークに減少していく場合。
- 想定③: 11/23以降、新規陽性者数が前週比1.4倍ずつ増加し、12/11をピークに減少していく場合。
- 想定④: 11/23以降、新規陽性者数が前週比1.5倍ずつ増加し、12/11をピークに減少していく場合。

【重症率の設定の考え方】

- 新規陽性者数のうち、40代以上が55%（※1）と設定。40代以上の新規陽性者数における重症率を5.8%（※2）と設定（全体陽性者中の重症率が3%）。

※1: 10/10～11/23の新規陽性者数（6873名）のうち、40代以上の陽性者数（3792名）から算出。

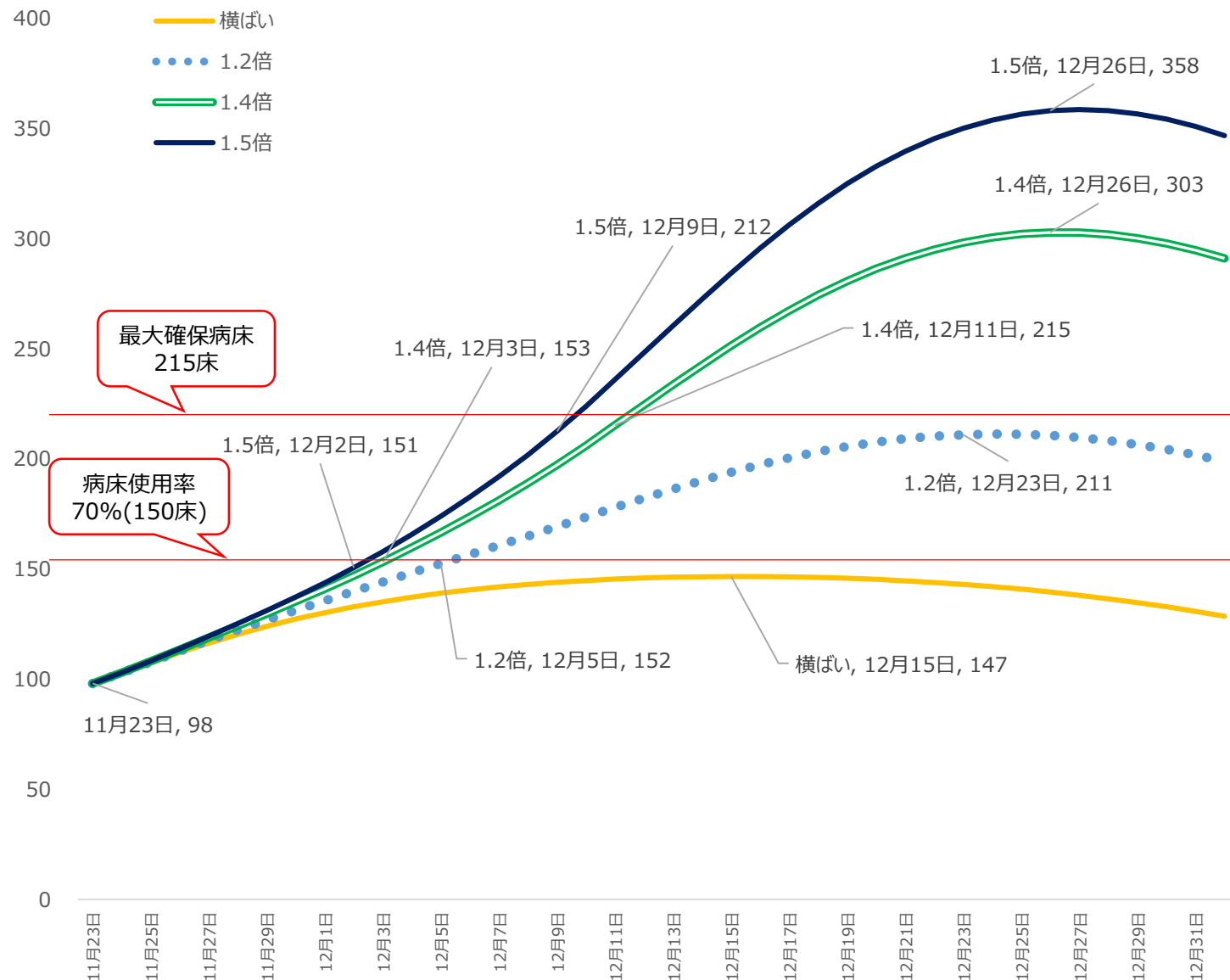
※2: 第二波の実測値から算出

- 重症者のうち、31%は診断時に重症、69%は診断時は無症状・軽症だが、約3日後に重症化する（第二波実測値）。

【療養方法と期間の設定の考え方】

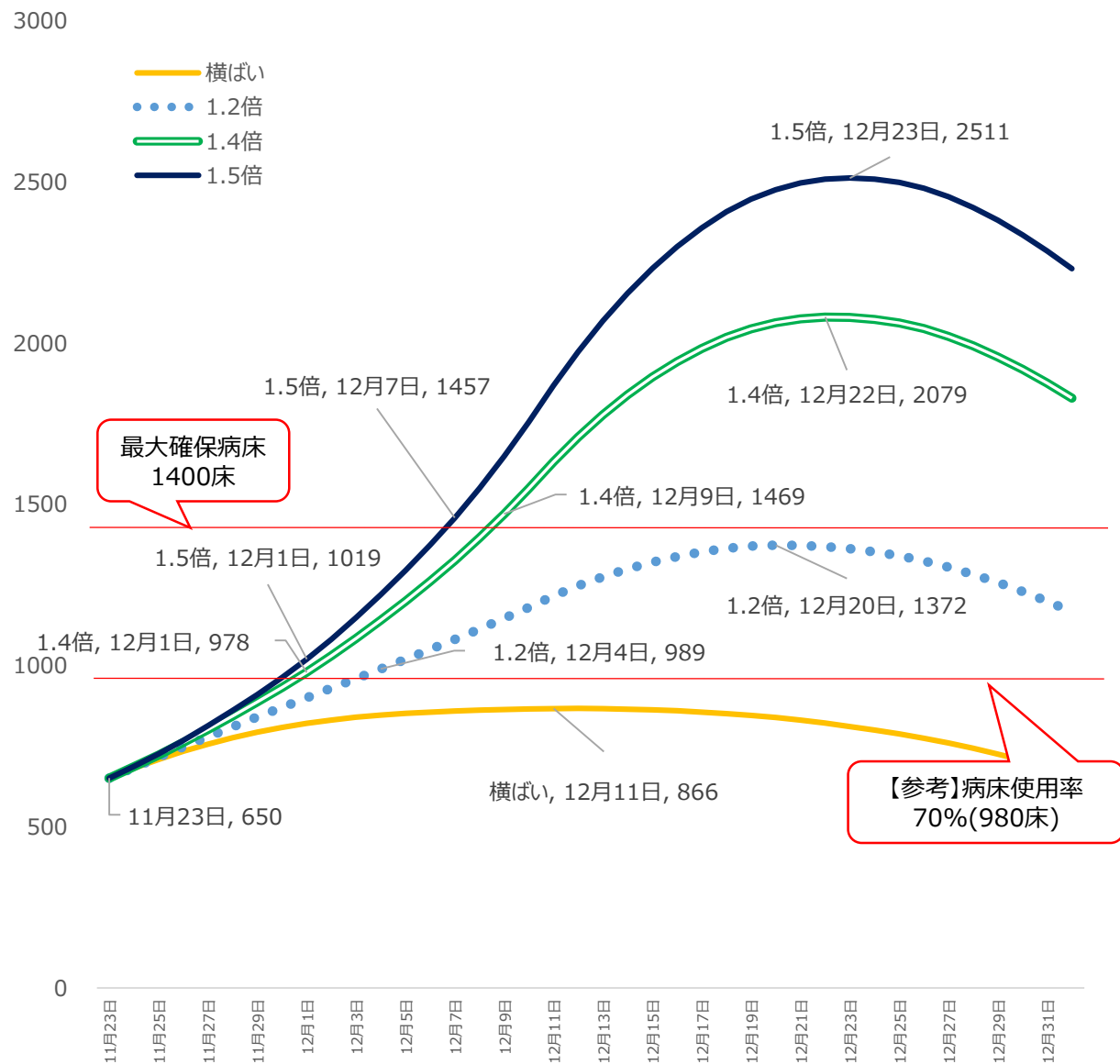
- 重症患者以外の陽性者のうち、22.8%は入院療養、34.7%は宿泊療養、42.5%は自宅療養となる（第二波実測値）。
- 重症患者の入院期間は約21日間で、軽症化した後退院する（第二波実測値）。
- 重症以外の入院療養者は約11日後に退院する（第二波実測値）。宿泊及び自宅療養者は約7日後に解除とする（第二波の宿泊療養者の療養期間から設定）。

入院患者数（重症）のシミュレーション



療養者数のシミュレーション

入院患者数（軽症中等症）のシミュレーション



宿泊療養者数のシミュレーション

